

東京交通新聞 2009 年 3 月 2 日

< 地元 NPO 選定 移動支援センター運営 >

世田谷区が発表

東京都世田谷区は先月 23 日、福祉タクシーなどを配車する「世田谷区福祉移動支援センター」の運営事業者に地元の特定非営利活動法人ハンディキャブを走らせる会（碓井英一理事長）を選定したと発表した。

同会は 4 月から市民が参加する「運営協議会」の合議制でセンター運営する方針。限定タクシーや NPO が加盟する世田谷移動サービス協議会とも連携する。

同センター長には東京ハンディキャブ連絡会代表で NPO 法人世田谷ミニキャブ区民の会事務局長の荻野陽一氏が就任する。

世田谷区は 3 月末で 3 年間センター運営に携わるつくば観光交通が退任するのに際し、昨年 12 月、新たに運営事業者・団体を公募。5 事業者が応募し、2 回の選定委員会（委員長 = 金澤弘道保健福祉部障害者地域生活課長）を経てハンディキャブを走らせる会を選定した。区の補助事業で、2009 年度補助金は 2008 年度並みの 670 万円が見込まれる。

同センターは利用登録数 1167 人（昨年 10 月末）。6 割が配車利用。2007 年度の配車依頼総数は 1868 件、月平均 155・7 件。依頼のあった日の平均は 6・8 件。登録事業者は 23（限定事業者 19、介護保険事業者 4）。地元 NPO11 団体はクロス配車（異団体間の会員相互配車）ができないため、登録せずに紹介協力関係にある。